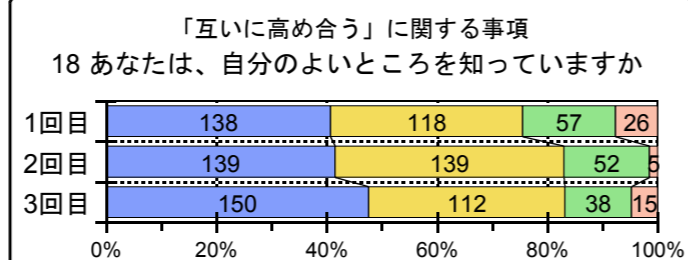
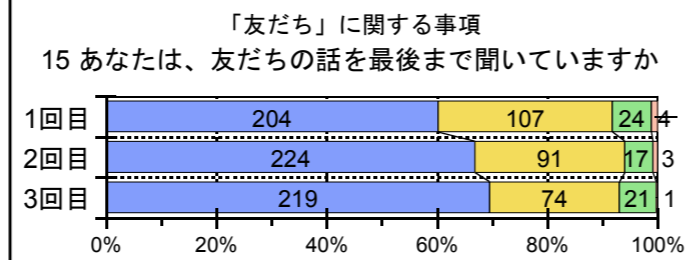
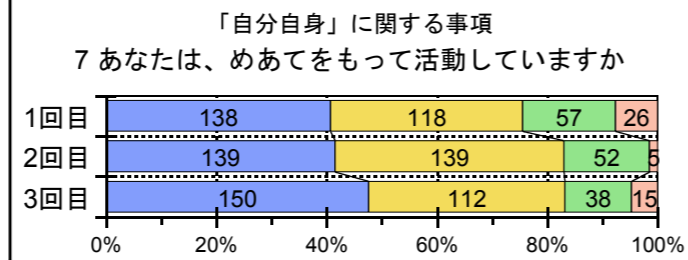
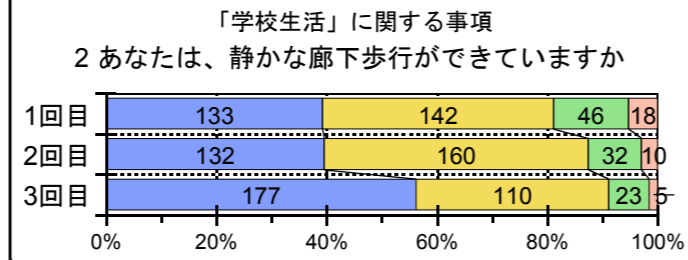


# 児童の意識調査

○第1回 平成29年7月 第2回 平成30年2月  
 第3回 平成30年6月 2年生以上の児童を対象に実施

◎「学校生活に関する事項」「自分自身に関する事項」「友だちに関する事項」「互いに高め合うに関する事項」の20項目を調査

- 学校生活
  - 1 学校に来るのが楽しいですか。
  - 2 静かな廊下歩行ができていますか。
  - 3 忘れ物をせずに学校へ来ていますか。
  - 4 名前を呼ばれたら「はい」と返事ができますか。
  - 5 困ったときに話せる人がいますか。
- 自分自身
  - 6 時間を守って行動していますか。
  - 7 めあてをもって活動していますか。
  - 8 丁寧な言葉づかいができていますか。
  - 9 クラスで自分の考えを言えますか。
  - 10 物を大切にすることができていますか。
- 友だち
  - 11 友だちによいことをしてもらったあとに「ありがとう」を言えますか。
  - 12 友だちにいじわるをしてしまったあとに「ごめんね」を言えますか。
  - 13 友だちに悪いことは、「わるい」とはっきり言えますか。
  - 14 「ごめんね」と言われたら許すことができますか。
  - 15 友だちの話を最後まで聞いていますか。
- 高め合う
  - 16 自分から友だちに声をかけて誘うことができますか。
  - 17 友だちにあいさつができますか。
  - 18 自分のよいところを知っていますか。
  - 19 友だちのよいところを知っていますか。
  - 20 動物や生き物を大切にすることができますか。



《児童の意識調査の結果》  
 ○『学校生活に関する事項』では、「学校に来るのが楽しい」「はいと返事」「廊下歩行」の項目が上昇した。  
 ○『自分自身に関する事項』では、「めあてをもって活動する」「丁寧な言葉遣い」「困ったときに話せる人がいる」の項目が上昇した。  
 ○『友だちに関する事項』では、「ありがとうやごめんねの言葉」や「友だちの話を聞き方」の項目が上昇した。  
 ○『互いに高め合うに関する事項』では、「あいさつ」や「自分や友だちのよいところがわかる」の項目が上昇した。

## IV 成果と課題

**児童への効果**  
 「4人4花栽培」や「人権日めくり」「ふわふわ言葉雲」など、人的、物的、言語環境等を整えたことで、児童の人権意識が高まり、充実した学校生活や人間関係がよくなってきている。  
 また、「友だちとかかわる授業」や「家庭学習の習慣化」により、「埼玉県学力・学習状況調査」の伸びが大きい等、学力面でも効果がみられた。

**今後の課題**  
 自他の大切さに気付き、互いに高め合うことができるような研究を重ね、児童の人権意識をさらに高めていくことと、豊かな心を育むための環境整備を今後も進めていくことが必要であるとする。

**教師への効果**  
 学習過程の中に「自ら考える場面」や「互いに話し合う場面」を設定する等、学習指導の工夫・改善について取り組んだ。個々の児童の力を引き出す指導法についての学び合いが図られ、日々の授業実践に生かすことができた。  
 教師自身の人権意識もより高めることができた。



# 研究紀要



## 研究主題

「確かな学力を身に付けた心豊かな児童の育成」  
 ～自他の大切さを認め、互いに高め合う児童を目指して～

あいさつ

校長 森田 健二

本校は平成29・30年度熊谷市教育委員会から人権教育の研究委嘱を受け、「確かな学力を身に付けた心豊かな児童の育成 ～自他の大切さを認め、互いに高め合う児童を目指して～」を研究主題とし、研究を進めてきました。

本研究の目指すところは、自分自身で正しく判断し、他者と協力して仲良く行動できる資質や能力を育てていくための指導法はどうあるべきかを追究したものです。

本日、ここに研究の一端を発表させていただきますが、皆様の御指導をいただき、尚一層研究推進に努力してまいりますと存じます。本研究を進めるにあたり、熊谷市教育委員会の先生方をはじめ、多くの先生方に御指導を賜りましたことに衷心より御礼申し上げます。

## I 研究の基本的な考え方

